2024 年　活動報告書

氏名：瀬川晃

役職：准教授、研究委員会、広報委員会、入試実施委員会
プロジェクト：運動体設計
担当授業：メディア表現基礎 2（理解）、メディア表現特論E（設計）、制作基礎、制作演習 A（設計）

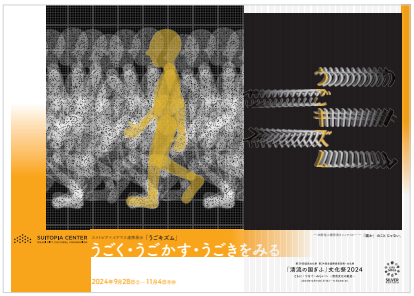
活動の概要

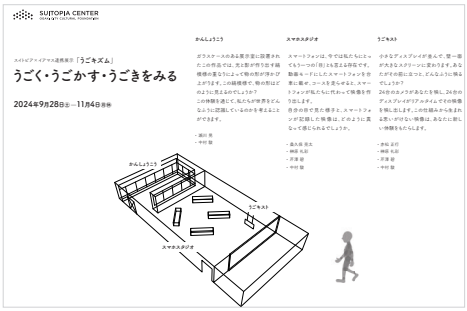
研究活動では、プロジェクト（運動体設計）において、グラフィックワークの実践し、関連作品・文献の参照やプロセスの公開、リサーチ、そしてプロジェクトの運営に携わった。教育面では担当学生の研究指導を行った。制作演習 A では非常勤講師と共に演習および講評会を行った。学外活動では、書籍の装幀、展覧会のグラフィック、サインの改修、審査員を行った。

学内で携わった共同活動

運動体設計（プロジェクト）

スイトピア連携展示「うごキズム」、エッジ・ツーリング、共同身体性など、さまざまなテーマで実践を行い、議論を進めた。グラフィックデザインと関連する事象や実践について実例や参照例を交えて考察した。
https://criticalcycling.com/





情報科学芸術大学院大学紀要　第 15 巻・2023 年

表紙デザインを担当。三輪眞弘教授退任記念特集として「またりさま」をモチーフに、フォトグラメトリ手法を用いた 360 度のレイアウトを試みた。

発行：2024 年 3 月

池田町有線放送電話プロジェクト《池田町有線放送アーカイブ》

音声、映像、紙媒体のアーカイブを再編集して会場内3部屋の展示を行った。

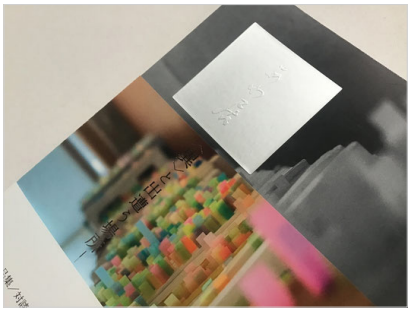
「清流の国ぎふ」文化祭 2024
DX 時代のメディア表現――新しい日常から芸術を思考する
会期：2024 年 11 月 1 日（金）～ 7 日（木）
会場：オンライン、ワークショップ 24［大垣］
主催：主催：情報科学芸術大学院大学［IAMAS］
研究会メンバー：金山智子（代表）、瀬川晃、前林明次、山田晃嗣

学外での個人活動

書籍『あわ居－〈異〉と出遭う場所－』岩瀬崇著（あわ居）

書家・詩人の岩瀬氏の書籍『あわ居－〈異〉と出遭う場所－』の装幀を担当した。表紙（グレー）とカバー（カラー）とタイトル（エンボスステッカーと箔押し加工）の 3 層構造となる構成。

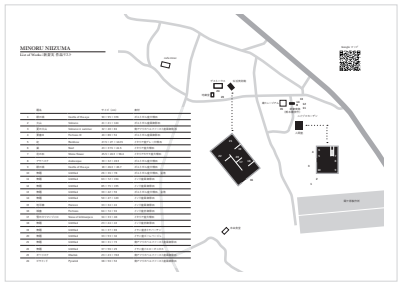
A5 / ソフトカバー（ブックケース付き）/ 初版 1000 部
制作：2024 年 6 ～ 11 月
2024 年 12 月 1 日刊行 /364 ページ / あわ居発行

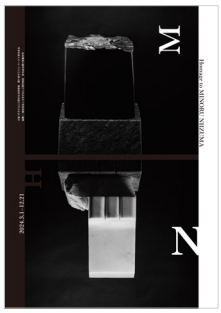


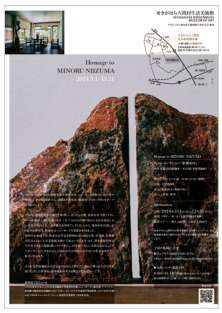
せきがはら人間村生活美術館企画展 Homage to MINORU NIIZUMA

新妻実（彫刻家）のコレクション展のための告知フライヤーと展示マップのデザインを担当した。石彫の材質や形状とタイポグラフィーを連動させてモノトーンと光と影の対比を強調した。

主催：せきがはら人間村生活美術館
制作：2024 年 3 〜 6 月
会期：2024 年 3 月 1 日（土）〜 12 月 21 日（土）
会場：せきがはら人間村生活美術館







動物の哲学

ドリアン助川（作家）、仲野麻紀（サックス奏者）による、言葉と音楽が交差する朗読コンサートのためのフライヤーデザインを担当した。ゲストトークのテーマを印刷の特徴を活かして、黒紙＋金＋白インクのみで再現した。

主催：縁舎 ENSHA
制作：2024 年 9 月
会期：2024 年 10 月 5 日（土）
会場：岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲長瀬 1550

サイン改修：ソフトピア地区

指定管理者との協議しながら、ソフトピア・センタービル入口：総合案内への誘導のためのフロアマップの改修を試みた。

制作；2024 年 5 〜 7 月

社会活動

たるい相川こいのぼりデザインコンテスト：審査員長

垂井町観光協会が相川こいのぼり一斉遊泳で使用するこいのぼりのデザインの応募作品を選考した。

主催：垂井観光協会
講演：2024 年 11 月